

# 都市計画道路 豊中岸部線 (岸部北工区)

道路構造に関する説明会  
五月が丘～名神高速～市道岸部北57号線

令和7年7月26日(土)  
令和7年7月31日(木)

茨木土木事務所

# 豊中岸部線 地元説明会(予定)

R7.7.31時点

(第1回) 令和7年7月26、31日  
佐井寺中学校～市道岸部北57号線までの道路構造  
(名神高速との交差、博物館の接道、公園の緑と道路構造等)

(第2回) 令和7年8月末頃(日時調整中)  
市道岸部北57号線～府道大阪高槻京都線までの接道交差等  
(交差点、取付接道等について)

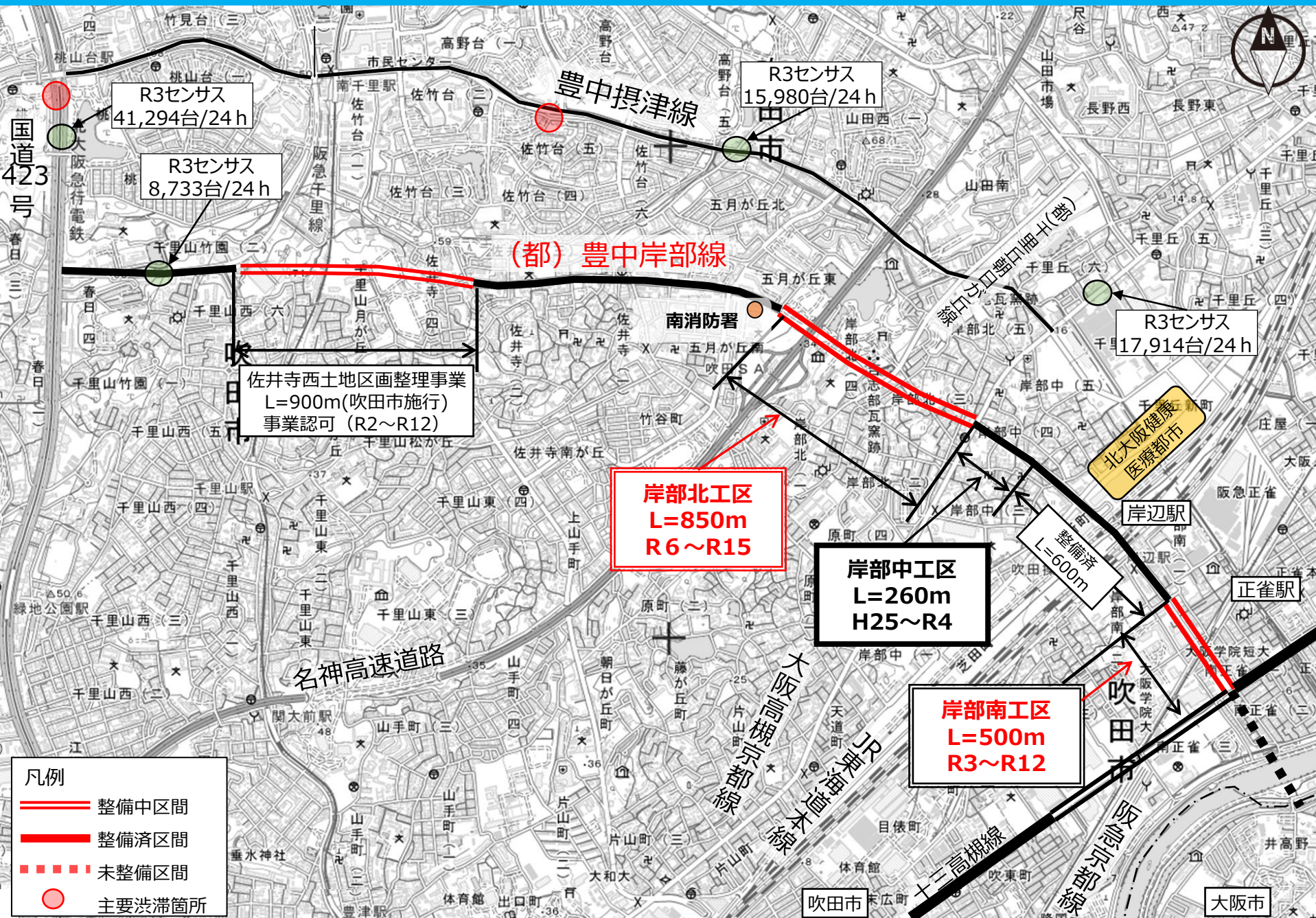
(第3回) 令和8年2月以降  
用地測量(境界確定)説明会  
(用地境界確定スケジュール、用地取得に関する事項等)

※その他、必要となった場合には随時開催をいたします。

## 【説明区間(予定)】









# 岸部北工区の状況

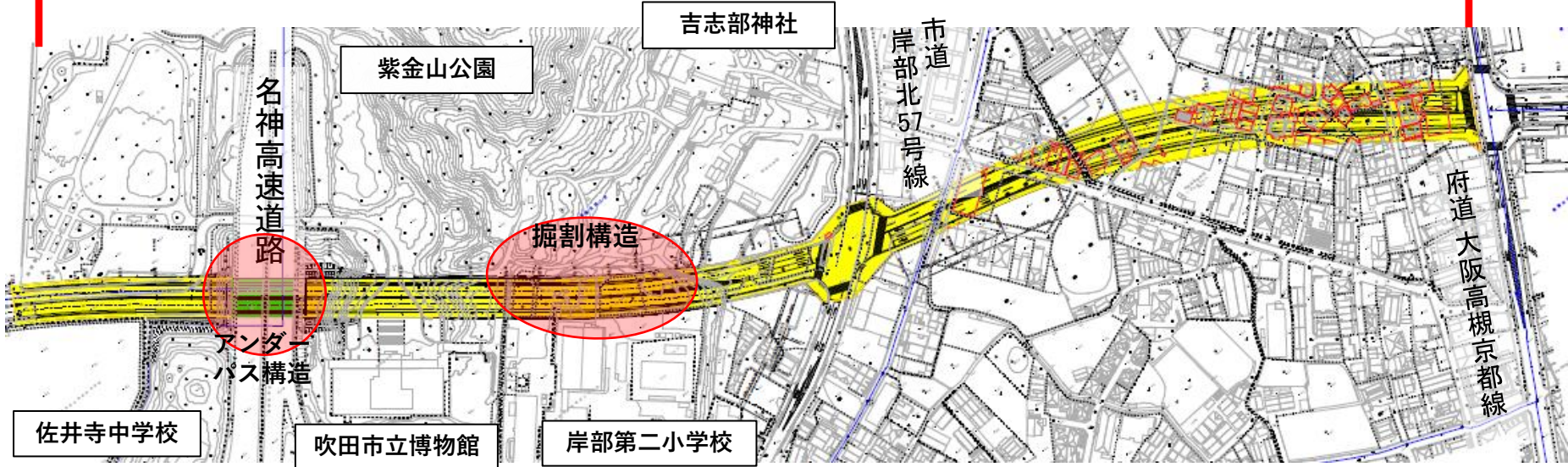
R7.7.31時点



事業概要 : L=約850m、W=22~34m  
事業区間 : 佐井寺東土地区画整理~大阪高槻京都線  
交通量 : 2.5万台/日  
中期計画 : 着手

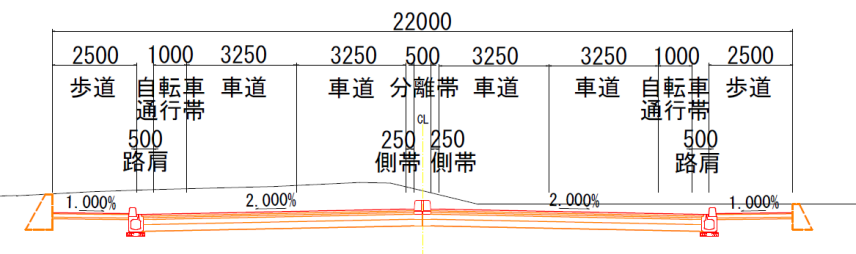


事業区間 L = 849m W=22.0m~34.0m



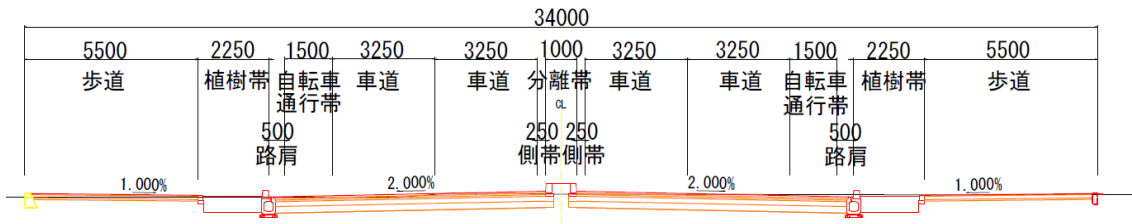
■ 計画横断図 (一般部)

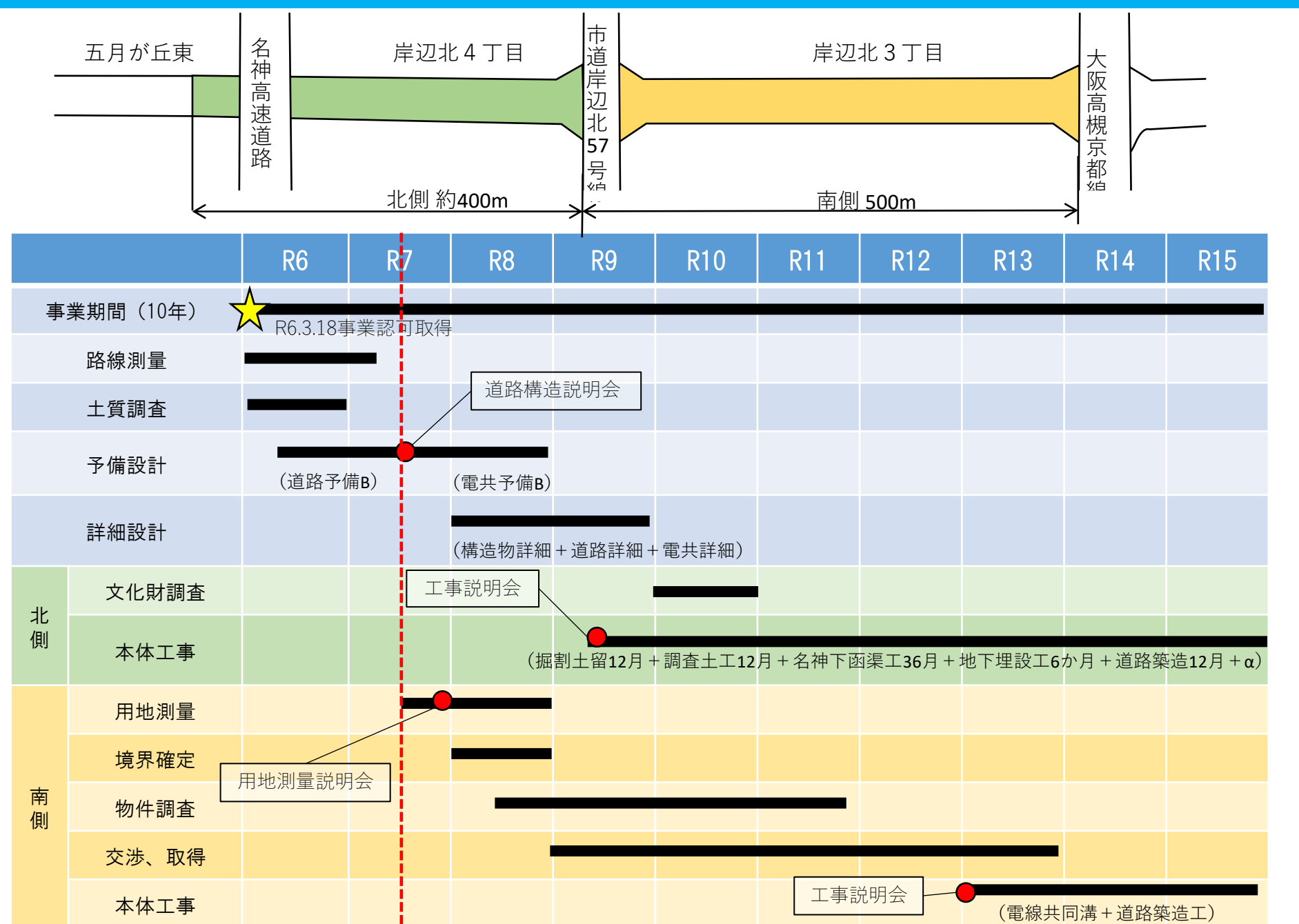
W=22.0m区間 (単路部)  
NO. 13+00.000付近



■ 計画横断図 (岸部中交差点側)

W=34.0m区間 (単路部)  
NO. 36+00.000付近











道路法第30条第1項、第2項の規定に基づき定められた「道路構造令」により設計を行う

道路規格 第4種 第1級  
設計速度 60 k m/h  
将来交通量 25,100台/日（令和22年予測）

第3条 道路は、次の表に定めるところにより、第1種から第4種までに区分するものとする。

道路の存する地域	地方部	都市部
高速自動車国道及び自動車専用道路又はその他の道路の別		
高速自動車国道及び自動車専用道路	第1種	第2種
その他の道路	第3種	第4種

計画交通量 (単位1日につき台)	10,000以上	4,000以上 10,000未満	500以上 4,000未満	500未満
道路の種類				
一般国道	第1級	第2級		
都道府県道	第1級	第2級	第3級	
市町村道	第1級	第2級	第3級	第4級

第13条 道路（副道を除く。）の設計速度は、道路の区分に応じ、次の表の設計速度の欄の左欄に掲げる値とする。ただし、地形の状況その他の特別の理由によりやむを得ない場合においては、高速自動車国道である第1種第4級の道路を除き、同表の設計速度の欄の右欄に掲げる値とすることができる。

区 分	設計速度(単位 1 時間につきキロメートル)	
第 1 種	第 1 級	120 100
	第 2 級	100 80
	第 3 級	80 60
	第 4 級	60 50
第 2 種	第 1 級	80 60
	第 2 級	60 50又は40
第 3 種	第 1 級	80 60
	第 2 級	60 50又は40
	第 3 級	60, 50又は40 30
	第 4 級	50, 40又は30 20
	第 5 級	40, 30又は20
第 4 種	第 1 級	60 50又は40
	第 2 級	60, 50又は40 30
	第 3 級	50, 40又は30 20

2 副道の設計速度は、1時間につき、40キロメートル、30キロメートル又は20キロメートルとする。



道路法第30条第1項、第2項の規定に基づき定められた「道路構造令」により設計を行う

縦断線形 最急縦断勾配 5%

縦断勾配とは道路の進行方向における  
坂の傾きを表すもの。

縦断勾配が道路に与える影響

## ①車両の走行安全性

急な下り坂ではブレーキ性能が重要、上り坂では速度低下が懸念される

## ②走行性・快適性

急勾配だと燃費悪化、騒音増加、走行ストレス増加

## ③排水性

勾配が適切だと水はけが良く、逆にフラットすぎると排水不良になる

## ④建設コスト

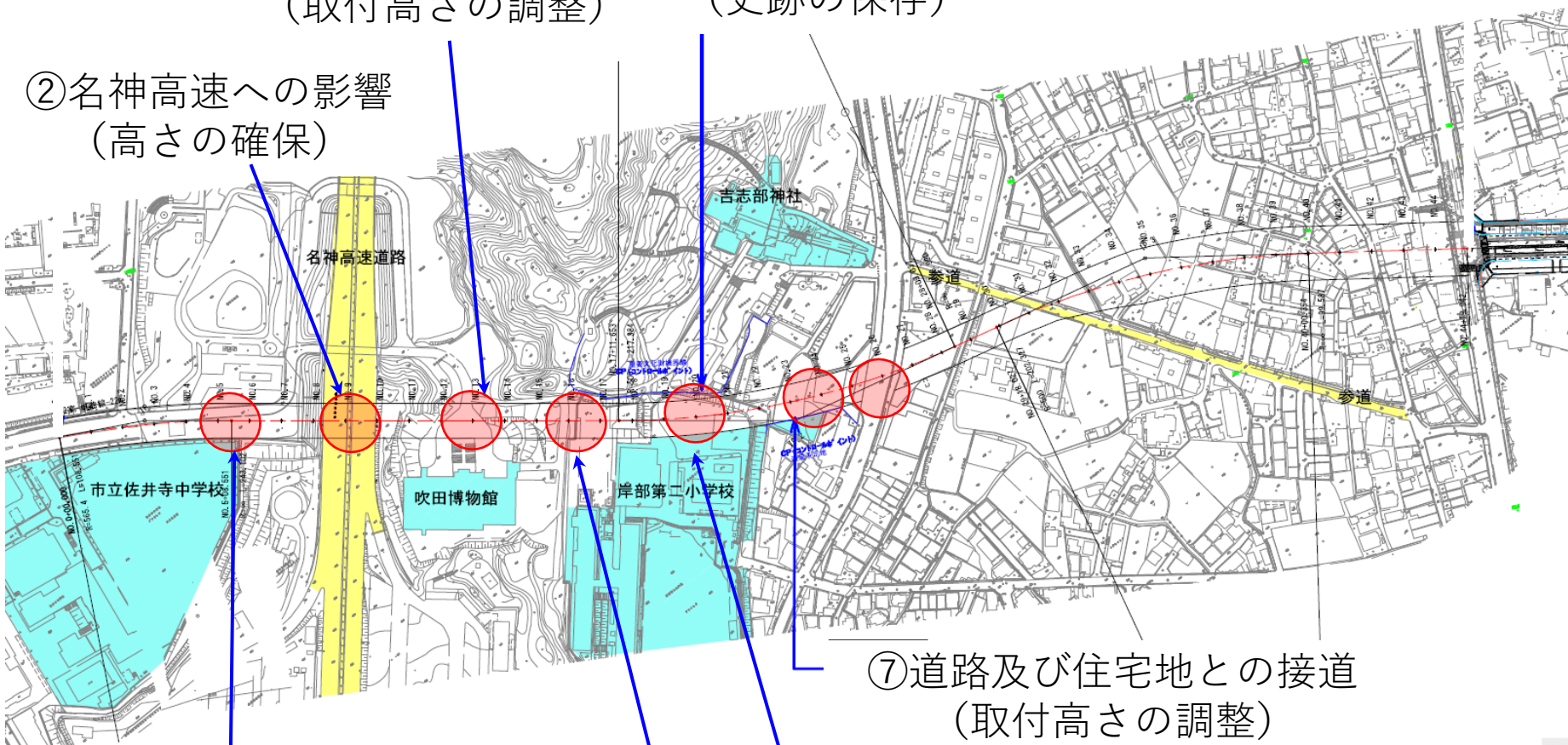
地形により切土盛土、構造物が必要となり建設コストに影響する

道路規格 第4種 第1級 , 設計速度 V=60 km/h 設計車両: 普通自動車、セミトレーラー連結車																		
項 目		単位	基準値						その他 基準		採用値	摘 要 (道路構造令 参照頁)						
			望ましい値		標準値		特例値											
平面線形	最小曲線半径		m	200		150		120		—		500		P341, P349				
	緩和曲線省略半径		m	—		1000		—		—		—		P 396				
	片勾配打ち切り半径		m	—		2000		—		—		2000		P 360				
	最小曲線長	$\theta \geq 7^\circ$	m	—		100		—		—		217		P 354				
		$\theta < 7^\circ$	m	—		700/θ		100		—		—		P 354				
	緩和曲線	最小パラメーター	m	—		90		—		—		省略		P 392				
最小緩和曲線長		m	—		50		—		—		省略		P384					
縦断線形	最急縦断勾配	一般値	%	—		5		8		—		5		P 426				
		特例値 及び 制限長	i = 6 %	m	—		—		500		—		—		P 434			
			i = 7 %	m	—		—		400		—		—		P 434			
			i = 8 %	m	—		—		300		—		—		P 434			
	最小縦断曲線半径	凸型	m	2000		1400		—		—		4070		P452, P464				
		凹型	m	1500		1000		—		—		3850		P452, P464				
	最小縦断曲線長		m	—		50		—		—		125		P 463				
	標準横断勾配		%	—		2.0		—		—		2.0		P 467 (片側2車)				
片勾配の最急すりつけ率		—	—		1/125		—		—		省略		P 398					
最急合成勾配	一般地	%	—		10.5		—		—		10.5		P 470					
視 距		m	—		75		—		—		省略		P 413					
曲線部の片勾配																		
曲線半径	以上	m	120	150	190	230	270	330	420	560	800							
	未満		150	190	230	270	330	420	560	800	2000							
片勾配の値	標準値	%	10	9	8	7	6	5	4	3	2	P362						
曲線部の拡幅 (1車線当たり)																		
曲線半径	以上	m	150	100	70	50	—	—	—	—	—							
	未満		280	150	100	70	—	—	—	—	—							
拡幅量	1車線当たり	m	0.25	0.50	0.75	1.00	1.25	1.50	1.75	2.00	2.25	P374						

③博物館の接道  
(取付高さの調整)

④国指定史跡への影響  
(史跡の保存)

②名神高速への影響  
(高さの確保)



①佐井寺中学校への影響  
(教育環境の保全)

⑤小学校への影響  
(教育環境の保全)

⑥公園接続道路の整備

⑦道路及び住宅地との接道  
(取付高さの調整)



## 条件①佐井寺中学校への影響（擁壁高さ）

R7.7.31時点

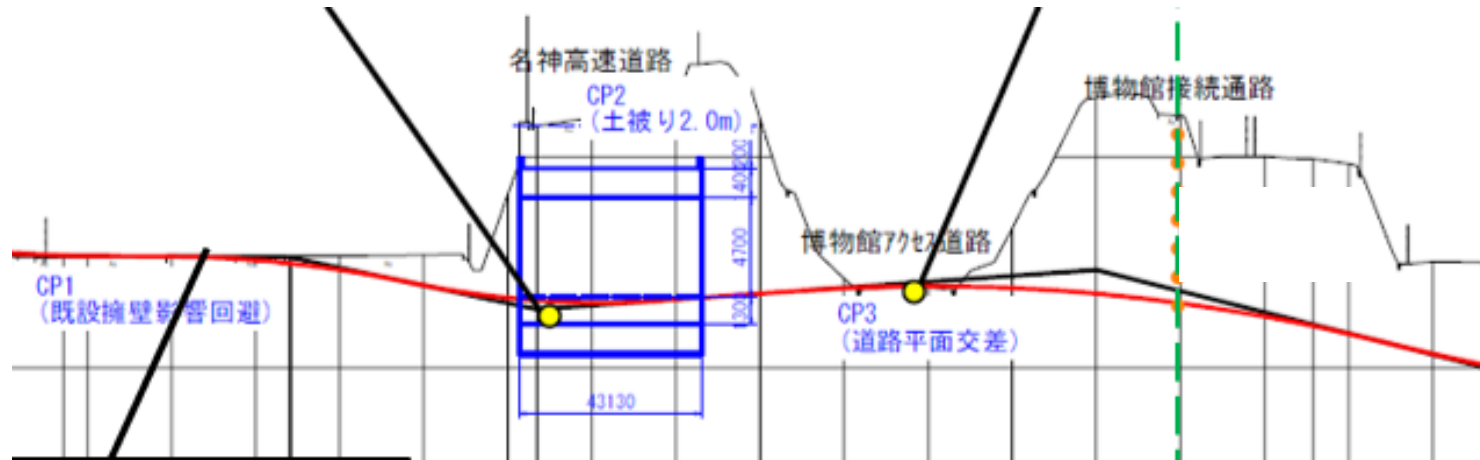
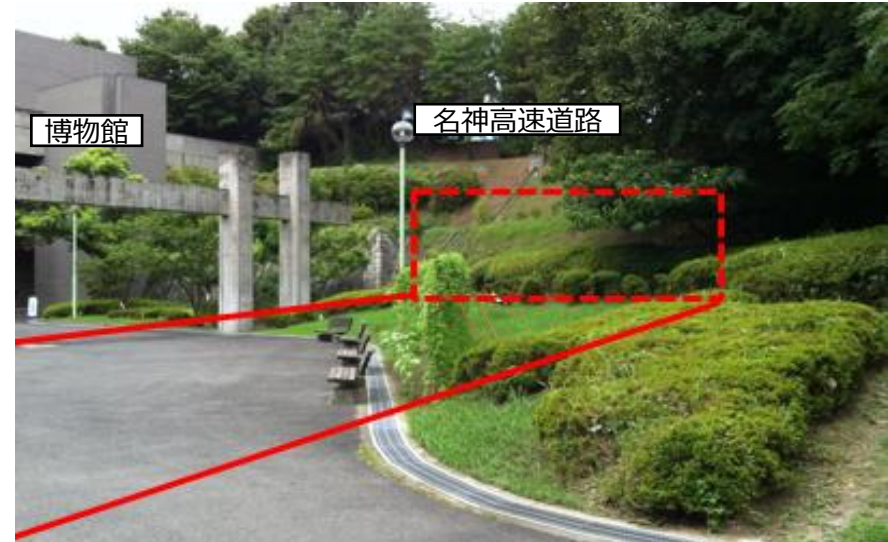
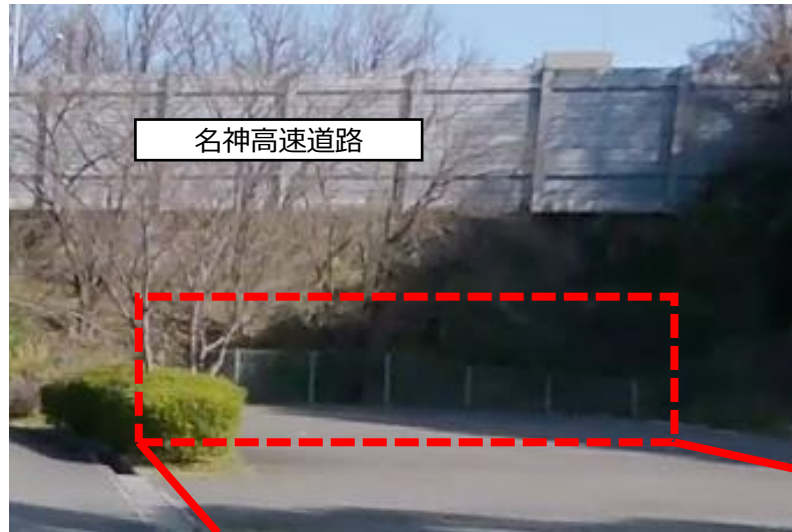
佐井寺中学校の擁壁に影響を与えないように、**道路計画高さは現況高さ**とする。

道路計画高さを下げると、擁壁の再建設が必要となり中学校のグラウンドに大きく影響を及ぼし、学習環境に影響する



NEXCOからの条件として高速道路に影響を与えないよう

- ① 高速道路高さから2.0m以上の離隔が必要
- ② 勾配の最深部（サグ部）を名神下になるべく作らない
- ③ 工事中における変位（高速施設のズレき）の基準順守
- ④ 地震時にも耐えられる基準で設計すること



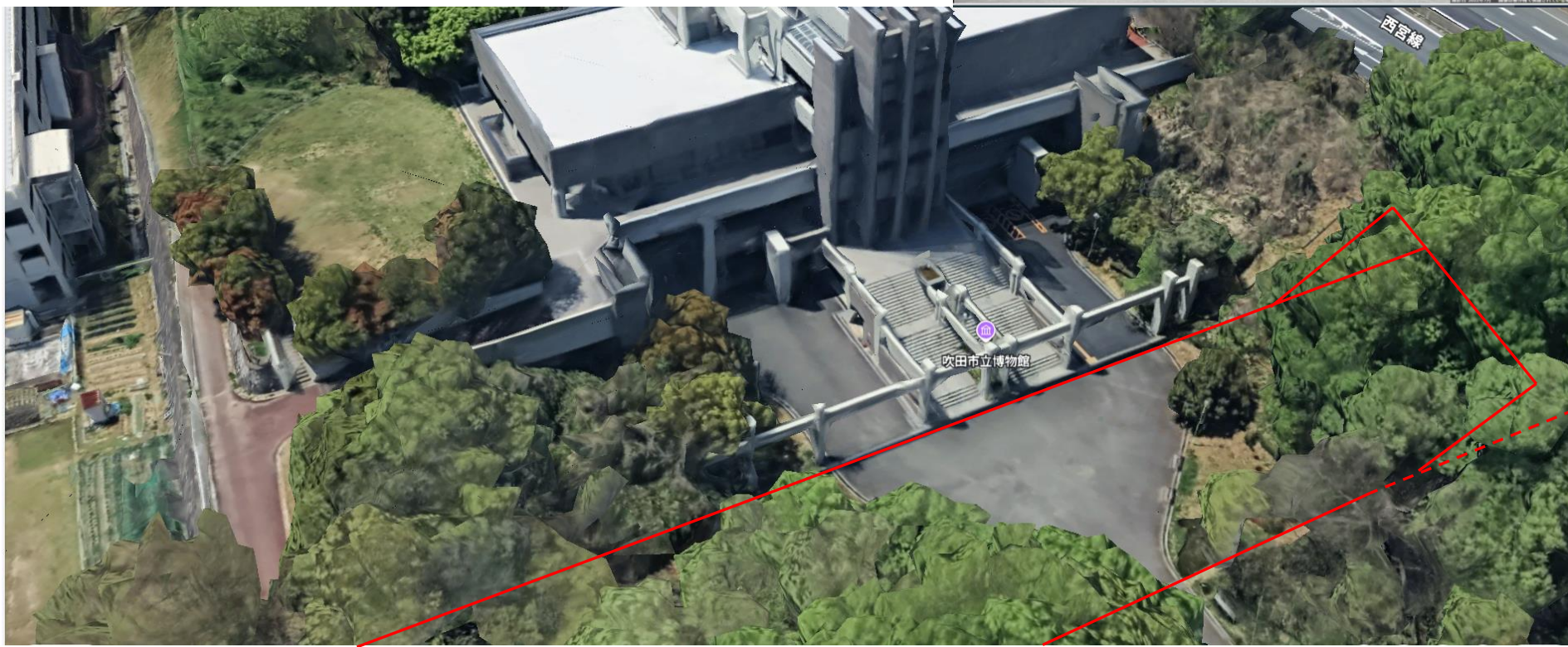


## 条件③吹田市博物館の接道（取付高さ）

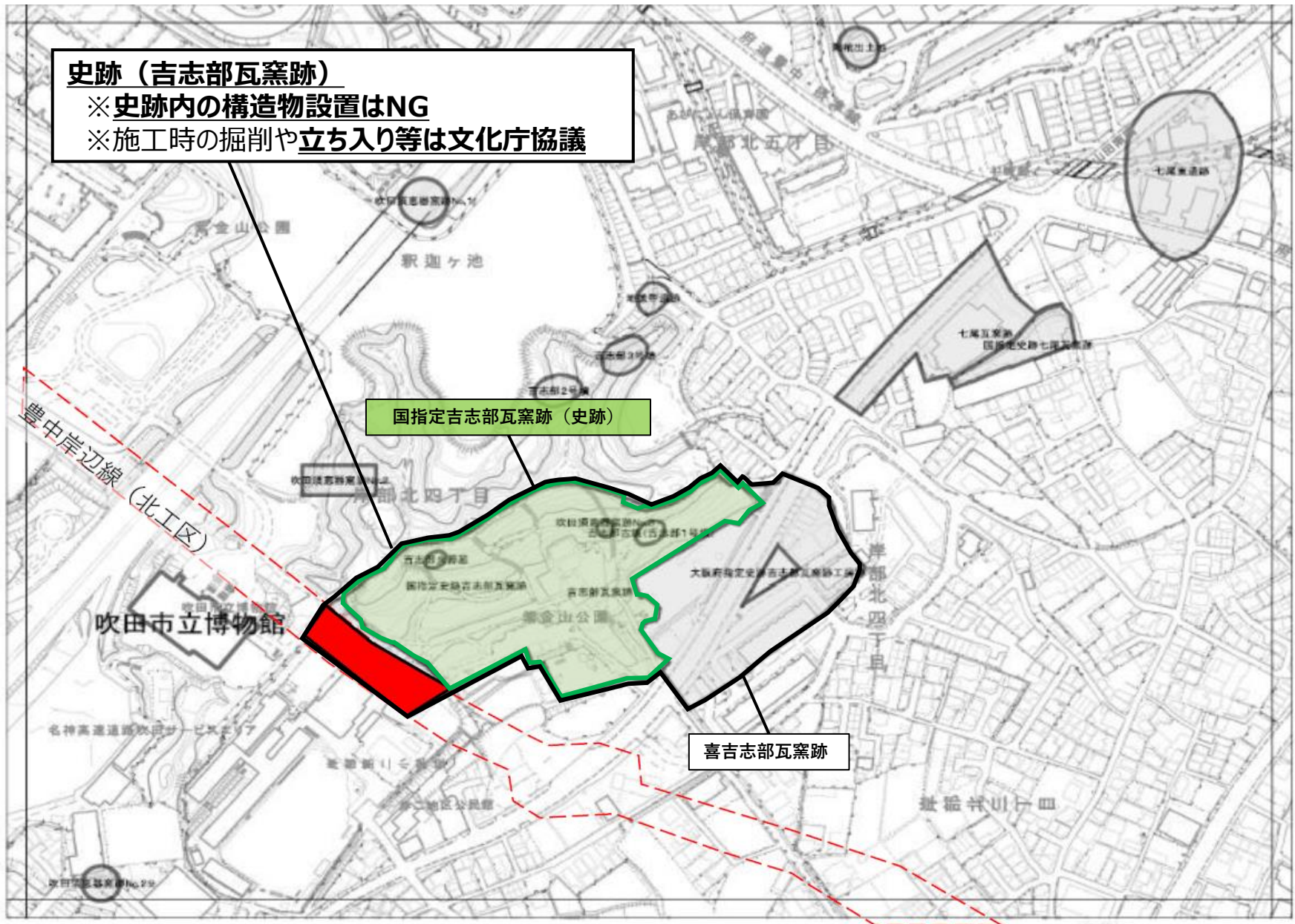
R7.7.31時点

吹田市博物館利用者の利便性、アクセス性向上のため、**道路計画高さは現況高さ**とする。

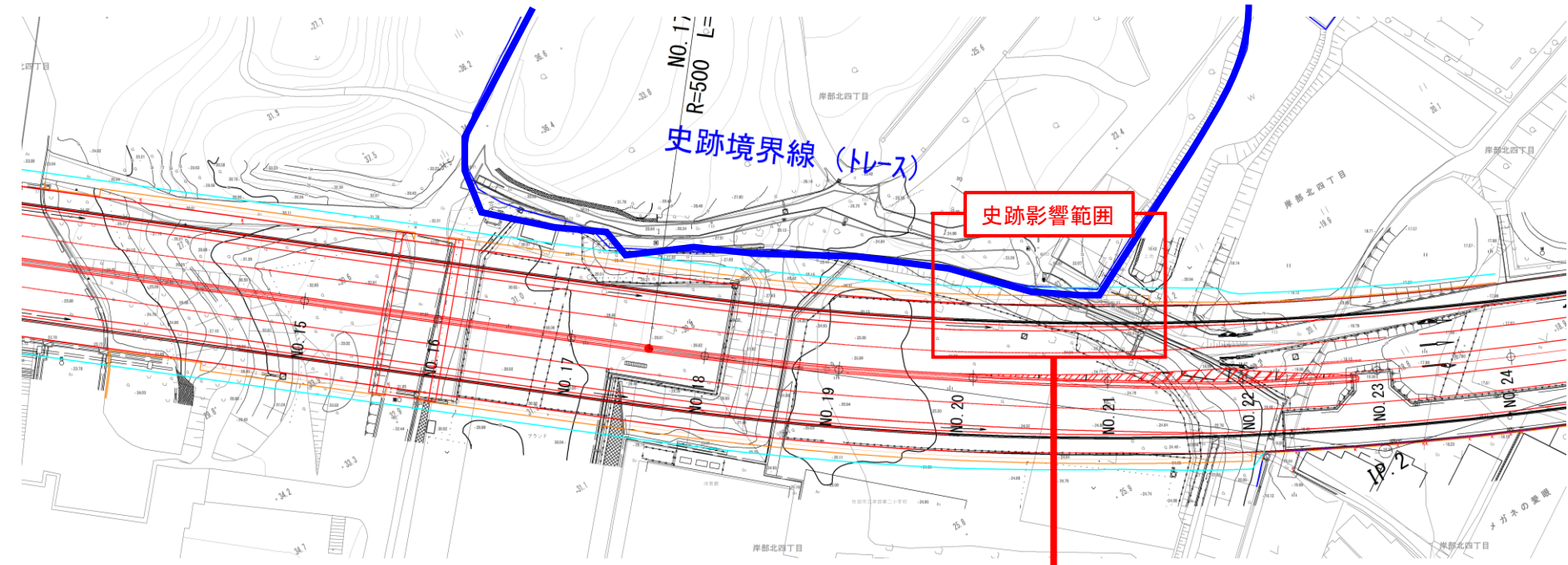
出来るだけ、博物館の改築工事等の必要がないように設計する



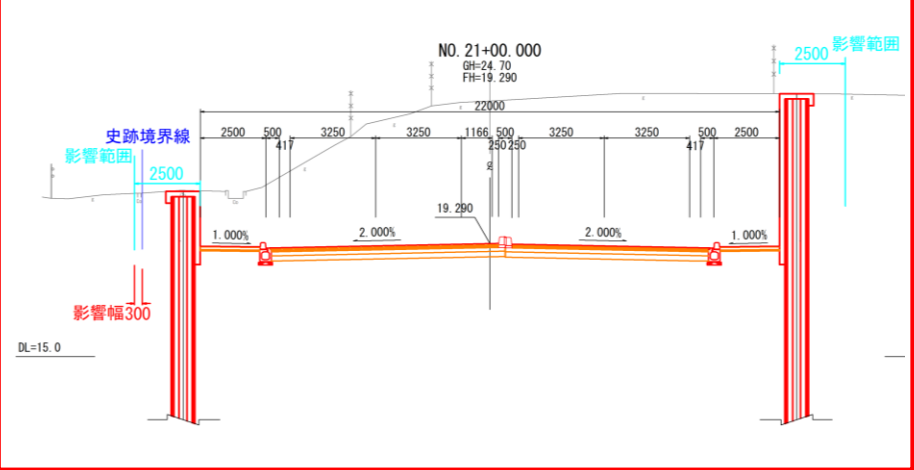




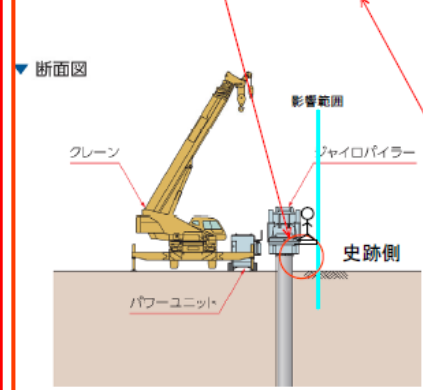




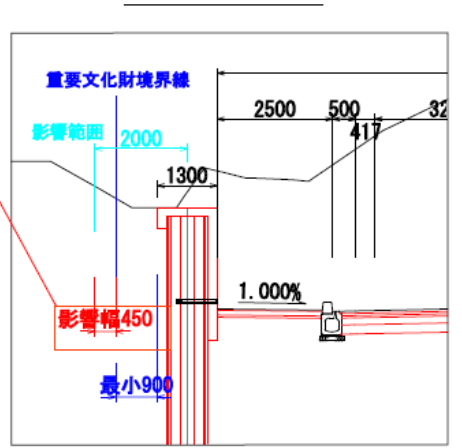
No21（史跡影響範囲）



施工範囲が史跡境界を超えているが、杭の施工幅2mは、機械・足場の幅のため、掘削等は発生しない



史跡影響区間

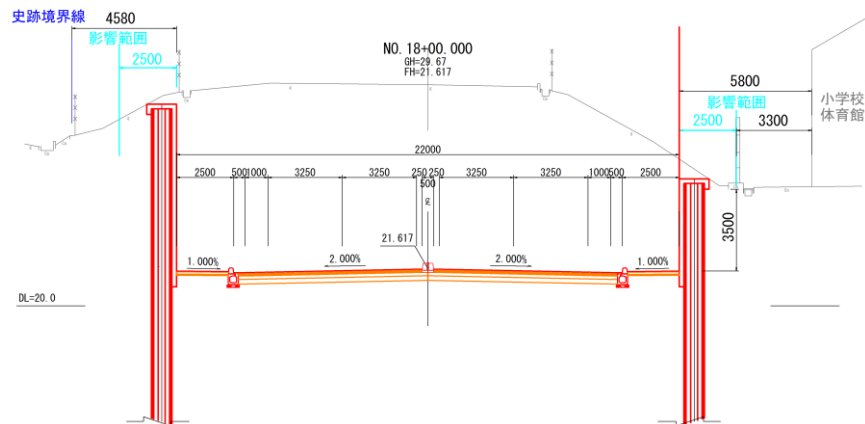


## R7.7.31時点



### 學校影響範圍

小学校  
体育館







【現況】 五月が丘消防署前の擁壁構造



小学校体育館裏の擁壁構造（イメージ）

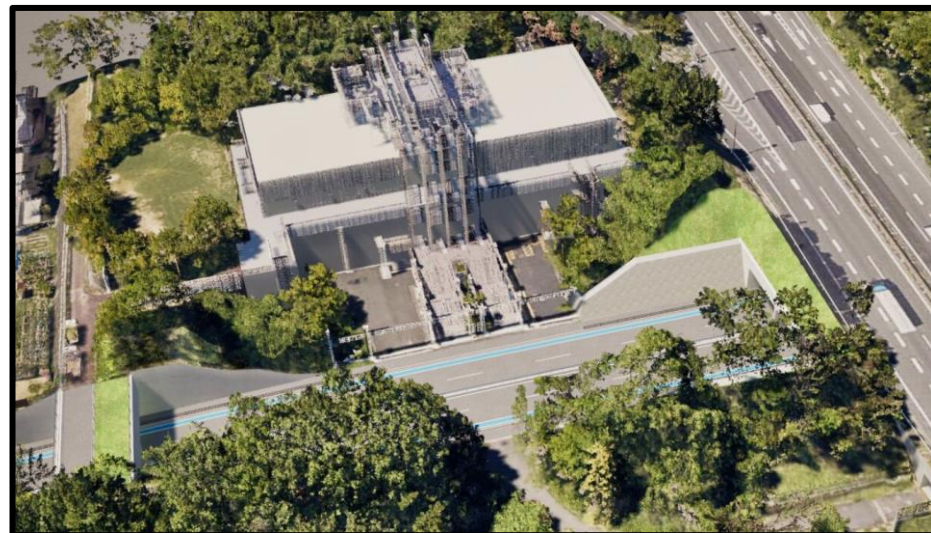
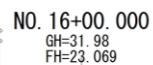
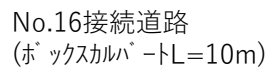


【現況】 佐井寺中学校前の擁壁構造

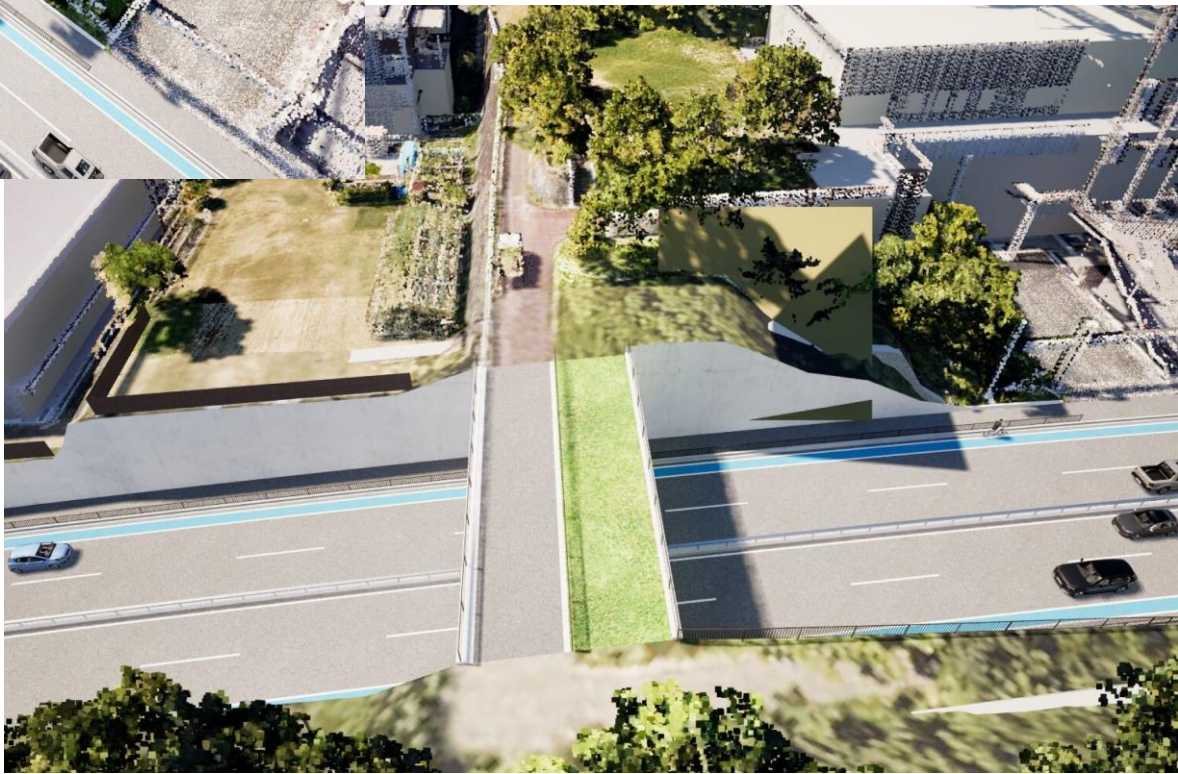


両側擁壁構造のイメージ

## R7.7.31時点









民地（戸建）との接道に影響がないよう、道路計画高を合わせる。また、市道岸辺北57号線との交差点高さは勾配のないよう設計する







# 道路縦断線形

R7.7.31時点

②名神高速アンダーパス部  
土被り2.0m  
ボックスカルバート構造

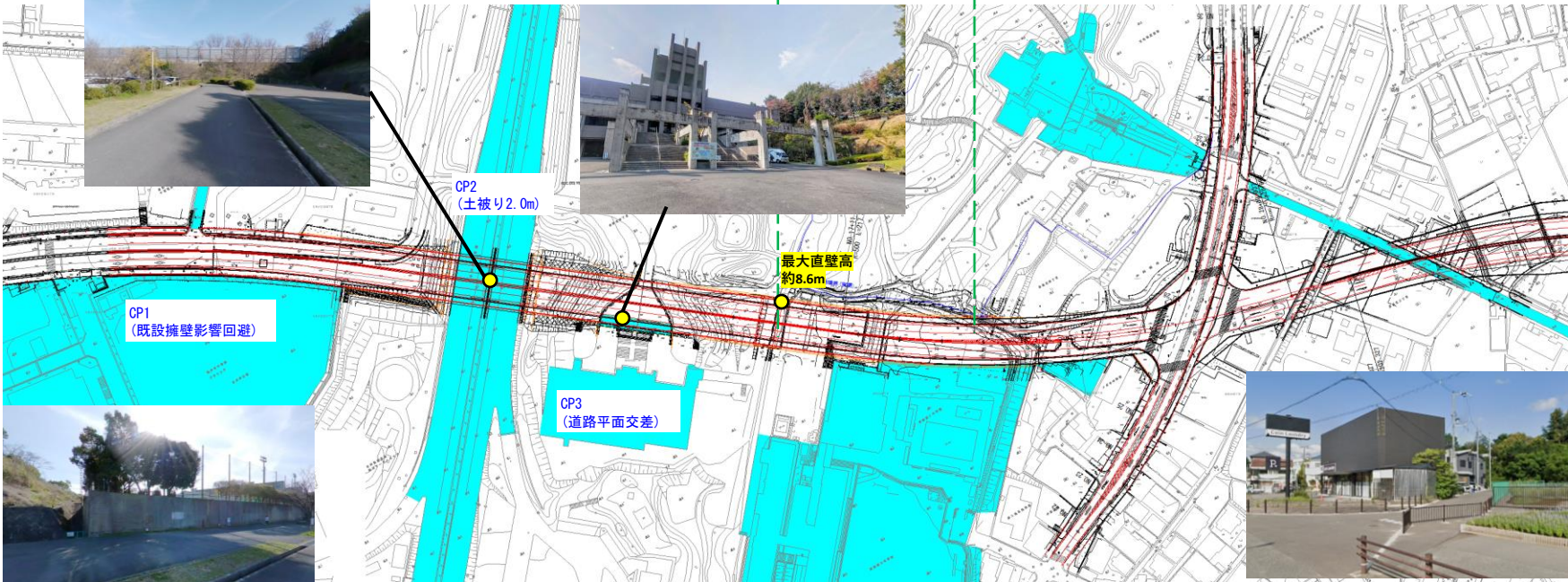
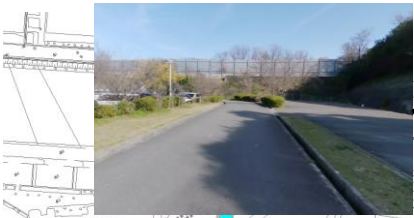


④吉志部瓦窯跡（史跡）  
史跡への影響がない土留壁で**施工可能**



③博物館前の道路高さ  
歩道から来場者**アクセス可能**

⑤紫金山公園前交差点  
現道交差点及び民地への**接道可能**



皆さまには、ご迷惑やご不便をおかけする  
と思いますが、ご理解とご協力をよろしく  
お願いいたします。

本日はありがとうございました。



**大阪府茨木土木事務所**